



怪しい「出資話」が市内で多発しています！

【事例1】<市内70歳代男性>若いセールスマン2人が訪問してきて「100万円預ければ毎月1万円の配当がある」と勧誘された。信用できるか。

【事例2】<市内60歳代女性>友人から「10万円を出資すれば2年後に300万円になる」と熱心に誘われ、出資してしまった。本当に配当があるか心配。

<トラブルに遭わないためのポイント>

「出資をすればお金が倍になる」「お金がどんどん増える」などと勧誘され出資をしたが「配当金がない」「出資金が返還されない」という出資金トラブル

の相談が増えています。

消費者は、「高配当」や「元本保証」という業者のうまい言葉を信じて契約し、配当金の滞り、業者の倒産や逮捕により被害に気付くケースが多いようです。このような状態になると、業者にはほとんど資金が残されていないため、消費者に出資金が返還される可能性は大変低くなります。

「高配当」をうたう出資を勧誘された場合は、業者の信用性や出資の内容について少しでも不明な点や不安な点があれば、ハッキリと断ることが大切です。怪しい出資話やうま過ぎるもうけ話には十分注意しましょう。消費問題で困ったときは消費生活センターにご相談ください。

問い合わせ 牛久市消費生活センター ☎830-8802 FAX830-8803

相談日：月・水・金曜日(午前9時～午後4時)

みんなの 農業

～うしくスタイル～

祝4周年！とくとく市においでよ

平成16年10月にスタートしたとくとく市。今月で51回目、5年目に突入しました。

記念すべき第1回は、野菜の高値が続く中で開かれました。山と積まれた大根があつという間に売り切れてしまい、慌てて畑に走った生産者も。回を重ねるごとに、お客さんと生産者の間で「この間の野菜おいしかったよ」「これはこうやって料理するとおいしいよ」など、会話が弾むようになりました。

とくとく市組合長の池田實さんによれば、初めはなかなか足並みがそろわなかったそうです。しかし「地域の人たちに地元のおいしい新鮮な野菜を食べてもらうため、頑張ろう！」という目的の下、池田会長の努力が実り、市場と取引のある農家の皆さんや八百屋さんが進んで出店するように、今後もりピーターを増やしながらか、たくさんの方に地元の味を知っていただきたいとのことです。

牛久市営青果市場は昭和30年に開設以来、50年以上の歴史を誇ります。池田会長は先代からずっと市場を支えてきました。それだけに市場に対する思いはひとしお。とくとく市開催によって、地域の方たちに理解と親しみを持ってもらおうと、仲間と共に頑張っています。もちろん最強の味方は奥様の久子さん。「よくやってくれてるよ」との一言に夫婦の円満ぶりがうかがえました。



とくとく市を支え続ける
池田組合長と奥様の久子さん

問い合わせ 市農業政策課 ☎873-2111内線1521～1522